

震災遺産と文化財



浪江町請戸地区にて。津波で倒れた「請戸小学校」の案内看板を震災遺産として保全した(平成二十六年九月十八日撮影)

「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」は、東日本大震災によって生じたさまざまな震災資料を次世代に伝えるべき震災遺産と位置づけ、平成 26 年度より、震災遺産の保全を図り防災教育等に活用することを目的に調査・収集活動やアウトリーチ事業を実施しています。本年度アウトリーチ事業「震災遺産を考えるⅢ」第 1 弾は白河市でのセッションとなります。

開催館となる福島県文化財センター白河館 まほろんの敷地には現在、被災文化財の仮保管庫が置かれ、東日本大震災後の文化財レスキューで運び出された被災地域の博物館資料などが保管されています。被災文化財は被災地におけるかつての人々の生活を後世に、震災遺産は被災地における震災という史実を後世に、それぞれ伝え残していく貴重な「物的証拠」です。そうした思いを共有しながら、今回は本プロジェクトと(公財)福島県文化振興財団とが共同で、震災遺産と文化財の保護の意義について考える展示会と講演会を開催します。

プログラム1 ふくしま復興展「震災遺産と文化財」 入場無料

- ◎会期 平成 28 年 5 月 28 日(土)～7 月 3 日(日) (※月曜日は休館)
- ◎会場 福島県文化財センター白河館まほろん 特別展示室
- ◎開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

プログラム2 文化財講演会「震災遺産と文化財を考える」 入場無料

- ◎日時 平成 28 年 6 月 5 日(日) 13 時～16 時
- ◎会場 福島県文化財センター白河館まほろん 講堂
- ◎講師 高橋 満 (福島県立博物館 主任学芸員) / 白井 哲哉 (筑波大学図書館情報メディア系 教授)
- ◎定員 60 名 (事前申し込み不要。当日先着順。)

主催 ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会・公益財団法人福島県文化振興財団
お問い合わせ 福島県文化財センター白河館 まほろん 電話：0248-21-0700

■ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会構成団体

- 福島県立博物館
- 南相馬市博物館
- 富岡町歴史民俗資料館
- (公財)ふくしま海洋科学館
- 双葉町歴史民俗資料館
- いわき市石炭・化石館
- 相馬中村層群研究会
- いわき自然史研究会

■ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会事務局

- 福島県立博物館
- 〒965-0807 会津若松市城東町 1-25
- 電話：0242 (28) 6000 FAX：0242 (28) 5986



「震災遺産と文化財」

プログラム1

ふくしま復興展 「震災遺産と文化財」

- ◎会場 福島県文化財センター白河館まほろん 特別展示室
- ◎会期 平成28年5月28日(土)～7月3日(日) ※月曜休館
- ◎開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- ◎観覧料 無料
- ◎主催 ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会
公益財団法人福島県文化振興財団
- ◎展示の主旨 震災の「物的証拠」である震災遺産が、文化財保護と同様の視点から保護されるべきものであることを伝え、文化財保護の意義を再認識できる展示とします。
- ◎展示構成

1. あの日・あの時から	2. 「避難」の多様性
3. 断絶する「日常」	4. 思いがけない「未来」
5. 人の避難所・文化財の避難所	
- ◎主な展示品

<ul style="list-style-type: none"> ・震災の時刻で止まった時計(富岡) ・火事で溶けた街灯(いわき) ・津波で曲がった橋の欄干(いわき) ・避難誘導したパトカーの部品(富岡) ・富岡町関根遺跡 縄文晩期土器 	<ul style="list-style-type: none"> ・請戸小学校の案内看板(浪江) ・被災地名を示す道路標識(南相馬) ・垂れ幕「富岡は負けん！」(富岡) ・旧相馬女子高内避難所資料(相馬) ・大熊町道平遺跡土偶
---	--

- ◎展示解説会
- | | |
|-------------------|-----------|
| ① 5月28日(土) 11:30～ | |
| ② 6月5日(日) 16:00～ | (※講演会終了後) |
| ③ 6月18日(土) 15:00～ | |
| ④ 6月26日(日) 11:30～ | |
| ⑤ 7月3日(日) 15:00～ | |



津波で流された地区の地名が入った徳利(南相馬市角部内)



土偶(大熊町道平遺跡)



縄文晩期土器(富岡町関根遺跡)



軒丸瓦(双葉郡山五番遺跡)



津波と火災に襲われたいわき市久之浜商店街の街灯

プログラム2

講演会 「震災遺産と文化財を考える」

- ◎会場 福島県文化財センター白河館まほろん 講堂
- ◎日時 平成28年6月5日(日) 13時～16時
- ◎入場 無料
- ◎定員 60名 (事前申し込み不要。当日先着順。)
- ◎講師 高橋 満 (福島県立博物館 主任学芸員)
白井 哲哉 (筑波大学図書館情報メディア系 教授)
- ◎内容 「震災遺産」を後世に伝える意義と、その保存・活用の視点について考える講演会です。震災の物的証拠である「震災遺産」が、歴史の証人である「文化財」と同様の意味を持つことを再認識する機会とします。
- ◎日程

13:00～	開会
13:05～	講演「震災遺構・震災遺物と文化財(仮)」高橋 満
14:05～	講演「災害アーカイブの収集・保存・活用」白井哲哉
15:05～	ディスカッション・質疑応答
15:55～	閉会 (※講演会終了後、展示解説会を開催)



お問い合わせ先：
 福島県文化財センター白河館 まほろん
 〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86
 電話：0248-21-0700 FAX：0248-21-1075